

## 【単年度事業評価様式】

**金沢区地域子育て支援拠点事業**  
**令和4年度重点目標評価結果・令和5年度重点目標**

事業実施期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日(1年度目/5か年度)
事業の実施者	公益財団法人 横浜YMCA
	金沢区こども家庭支援課
事業目的	<p>市民が安心して子どもを生み育て、子育てに喜びを感じることができる社会環境を形成し、子育てを地域全体で支援する地域力の創出に寄与することを目的とします。</p> <p>【事業・施設運営の基本理念】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 金沢区における、地域による子育て支援の拠点施設としての運営</li> <li>2 子どもの視点に立ち、すべての就学前児童及びその養育者、並びに子育てに関する支援活動を行う者に関わった運営</li> <li>3 子どもと家庭を支援する各種の行政等機関・地域等との連携を図る運営</li> <li>4 利用者の意見、子育てをめぐる社会情勢、市民ニーズの変化に柔軟に対応できる運営</li> <li>5 子ども及びその養育者の育ちを支援するとともに、養育者自身が事業の担い手として関わることができる視点に立った運営</li> <li>6 地域の人と人とのつながりを広げ、地域ぐるみの子育て支援を目指す運営</li> </ol>
事業の内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 乳幼児の遊びと育ちの場及びその養育者の交流の場の提供(親子の居場所事業)</li> <li>2 子育てに関する相談及び関係機関との連携に関すること(子育て相談事業)</li> <li>3 子育てに関する情報の収集及び提供に関すること(情報収集・提供事業)</li> <li>4 子育てに関する支援活動を行う者同士の連携に関すること(支援者ネットワーク事業)</li> <li>5 子育てに関する支援活動を行う者の育成、支援に関すること(人材育成、活動支援事業)</li> <li>6 地域の住民同士で子どもを預け、預かる支え合いの促進に関すること(横浜子育てサポートシステム区支部事務局運営事業)</li> <li>7 子育てで家庭のニーズに応じた施設・事業等の利用の支援に関すること(利用者支援事業)</li> </ol>
事業の評価実施方法及び評価結果の公表方法	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 今年度の取組状況や利用者アンケート結果等をもとに、協働契約書中の役割分担表の項目に沿って設定した、今年度の達成目標のうち、当該年度に特に重点的に取り組む達成目標である「重点目標」について、以下の通り、相互振り返りを踏まえた取組成果と課題を公表します。</li> <li>2 今年度の取組状況や成果、課題を踏まえ、次年度の重点目標を公表します。</li> </ol>

## 令和4年度重点目標の評価

令和4年度重点目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>①「地域deとことこ」を拡大・充実させ、地域の方々とともに子育て支援の裾野を広げていきます。</li> <li>②コロナ禍で出産・育児を迎える人のつながりが育まれるよう、妊娠期からの取り組みを拡充します。</li> </ol>
取組内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>①・拠点スタッフが地域に出向き、子育ての相談対応や、情報提供等を行い、参加者同士、参加者と地域の方々がつながる取り組みを継続していきます。 ・商業施設での「地域deとことこ」や「お外であそぼう」を通じて、不特定多数の方々に向けて拠点の周知や子育て情報提供を行います。</li> <li>②・子育て世代包括支援センターとの連携を進め、拠点におけるプレパパプレママを対象にした事業の周知を強化します。 ・「プレパパプレママ教室」参加者が拠点につながるきっかけとなるような取り組みを行います。 ・特に、はじめての方や0歳児親子の利用のきっかけとなるような取り組みを拡充します。</li> </ol>
取組の成果	<ol style="list-style-type: none"> <li>①「地域deとことこ」を12か所で開催し、地域の親子の居場所となっている。地域の方の期待や、拠点職員の立ち位置なども様々なため、職員間で確認しながら進めている。「地域deとことこ」に職員が行くことで、地域の親子が参加するきっかけとなっている。転居したばかりの拠点利用者に地域deとことこの案内をし、地域の子育てサロンに足を運ぶきっかけとなる等、拠点が地域へつながる懸け橋となっている。身近な地域の公園で「お外で遊ぼう」を実施し、「とことこ」の取り組みを知ってもらえるよう、「とことこ」通信を配布している。同時開催した「ばあくる」は7回開催し、75組の参加があった。マップをひろげ、地域情報の交換をしながら参加者同士の交流や地域を身近に感じるきっかけとなった。</li> <li>②プレパパ・プレママ教室を月2回定期的に開催。子育てに対するイメージを持つことや、コロナ禍ではあるがプレパパ・プレママ同士と一緒に過ごせる貴重な時間となり、育児不安軽減の一助となった。「はじめてのとことこ」は月2回、「タッチケア」は定員を拡大したことで、多くの親子が拠点を利用するきっかけとなった。</li> </ol>
取組の課題	<ol style="list-style-type: none"> <li>①商業施設での「地域deとことこ」開催方法に関しては、先方の意向も確認しながら検討する必要がある。</li> <li>②プレパパプレママ教室参加者が拠点利用につながる取り組みが未着手となった。(とことこ利用チケット・プレパパプレママ同窓会)プレパパプレママDAYの内容見直しも含め、引き続き、検討していく。</li> </ol>

## 次年度重点目標

令和5年度重点目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>①「地域deとことこ」を充実させ、地域の方々とともに子育て支援の裾野を広げていきます。</li> <li>②拠点事業を通じて、特に、妊娠期～乳児期の親子が安心して子育てができるよう取り組みます。</li> </ol>
-----------	---

取組内容	<p>①拠点スタッフが地域に出向き、子育ての相談対応や、情報提供等を行い、参加者同士、参加者と地域の方々がつながる取り組みを継続していきます。地域の方と一緒に「地域deとことこ」を開催する事で、地域を身近に感じられるような居場所として定着できるよう取り組みます。</p> <p>②テーマ別交流会や対象を明確にした会(はじめてのとことこ・タッチケア・多文化ママのお話会・プレママDAY・パパDAY等)、プレパパプレママ教室等を開催し、多様な親子にとって、利用しやすい環境を整えます。</p> <p>③子育てサポートシステムの新規事業が始まることで、妊娠期から制度の認知度を上げるとともに、本来の目的「地域の中での預け預かりあい」を利用・提供会員それぞれが体感できるよう推進していきます。</p>
------	--